

事務事業名	子どもフェスティバル開催支援事業				☒ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連		
政策名	総合計画 04	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
施策名	23	子どもを見守り、育てる地域づくり		所属係	生涯学習班	課長名	野本 立一
基本事業名	89	地域における子育て支援		担当者名	荒牧 聡	電話番号 (内線)	096-248-5555 1503
予算科目	会計 01	款 10	項 05	目 01	事業	社会教育総務費	
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返		☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 ↳ (開始年度 平成14 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の内容) 子どもフェスティバル実行委員会への補助金の交付 (業務の内容) 実行委員長からの補助金交付申請書を受理する。申請書審査後交付決定となれば交付決定書を発行して 実行委員長からの請求書を受け、補助金を交付する。 (予算の内訳) 負担金補助及び交付金(2,000,000円)				総 投 入 量	財 源 内 訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源	
					事業費計 (A)	0	
					人 件 費	正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B)	
					トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

合志市子どもフェスティバル実行委員会に対して、2,000千円の助成金を交付した。

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

合志市子どもフェスティバル実行委員会に対して、1,800千円の助成金を交付予定。

② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等

合志市内の子ども

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

子どもフェスティバルを盛大に開催してもらう

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

地域で子どもを見守り、育てていく。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称 単位
ア 助成金の額 円
イ
ウ

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称 単位
ア 子どもの人口 人
イ
ウ

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称 単位
ア 子どもフェスティバルに参加した子どもの数 人
イ
ウ

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称 単位
ア 地域で子どもが見守られ、育てられていると思う会員数 人
イ
ウ

(2) 総事業費・指標等の推移

	単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22 年度 (最終目標)
投入 量	財 源 内 訳	国庫支出金 千円						
		都道府県支出金 千円						
		地方債 千円						
		その他 千円						
		一般財源 千円	2,000	1,736	2,000	1,800	1,800	1,800
		事業費計 (A) 千円	2,000	1,736	2,000	1,800	1,800	1,800
	人 件 費	正規職員従事人数 人	7	7	12	12	12	12
		延べ業務時間 時間	500	500	835	835	835	835
		人件費計 (B) 千円	1,250	1,250	3,315	3,315	3,315	3,315
		トータルコスト(A)+(B) 千円	3,250	2,986	5,315	5,115	5,115	5,115
活動指標	ア イ ウ	円	2,000,000	1,736,000	2,000,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000
対象指標	ア イ ウ	人	7,500	7,500	7,500	7,400	7,400	7,300
成果指標	ア イ ウ	人	1,500	2,000	1,500	2,000	2,000	2,000
上位成果指標	ア イ ウ	人	未集計	未集計	未集計	500	550	650

合志市

事務事業名	子どもフェスティバル開催支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------------	-----	----------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
平成14年度に旧合志町の子どもたちを対象に、大きな祭りを開催することになり、始まった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
合併前は旧合志町の子どもが対象であったが、合併後旧西合志町の子どもたちも対象になり、数は倍増した。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
子どもフェスティバルへの助成金額が多いのではないかと意見が議員から出ている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 子どもフェスティバルが盛大に開催されることで、地域のよさを子どもたちが認識し、地域で子どもを見守ることに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 学校の枠を超え、全市の子どもたちが一同に会して、地域づくりへ参加することになるので、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象・意図は現状では適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 合併前は旧西合志町ではなかった催しなので、認知度がまだ浸透していないところもある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 子どもたちが、広く集まる機会がなくなり、子どもたちの地域づくりへの機会が薄れる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒【理由】(具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 学校や地域を超えて子どもたちが活動できる機会が他にない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 団体への助成金は、市全体での見直しが必要であり、それに伴い金額が削減されることも考慮しなくてはならない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 開催事務局としての業務が軽減されれば、人件費は削減できる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 広く全市の子どもたちに参加の機会があり、公平であると思われる。

合志市

事務事業名	子どもフェスティバル開催支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------------	-----	----------	-----	-------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

旧西合志町ではなかった催しなので、旧西合志地域対象の子どもたちにはもっと周知が必要である。
また、助成金も事業の工夫次第で削減できるのではないかと
思われる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善)
☒ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

旧西合志町ではなかった催しなので、旧西合志地域対象の子どもたちにはもっと周知が必要であり、
より参加者が増えるようにしたい。
また、助成金も事業の工夫次第で削減できるのではないかと
思われる。

(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上	○		
	維持			×
	低下		×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

- ① 総合センターでの開催なので、旧西合志地区の子どもたちの参加がしやすいような配慮が必要である。
 ② ヴィーブル自主事業の優先的会場使用が必要である。

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項